

学習指導案(教科:英語科)

1 授業内容(単発授業)

テーマ: 中学校英語スピーキングテスト(E-SAT-J)対策

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 本時の目標: 中学校英語スピーキングテスト(E-SAT-J)に向けて、実際の問題を使い、制限時間内に解答音声を吹き込むことで、実践的で即興的な応答をすることができる。

(2) 本時の評価規準

【主体的に学習に取り組む態度】自分の意見を英語でまとめ、工夫して表現しようとする。

【思考・判断・表現】質問に対して、目的、場面、状況に応じた表現ができる。

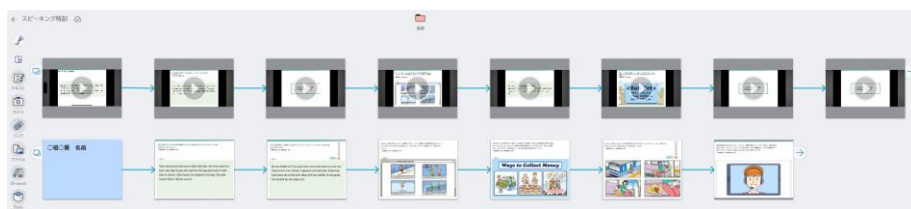
【知識・技能】質問の内容を理解し、適切な語法を使用できる。

(3) 本時の展開

| 時間 | 指導の内容・ねらい | 学習活動 | 指導上の留意点・評価 |
|-------------|--|---|--|
| 導入 (5分) | Review ・スピーキングテスト(E-SAT-J)の流れと形式について確認する。 ・本時の目標の提示 「スピーキングテストの実践練習をしよう」 | ・ClassPad.netでスピーキングテストの去年の問題のふせんを生徒に送信し、全体の流れの確認 | ▶説明も適宜交える。 視覚的に4つのパートと答え方の確認をする。 |
| 展開 (40分) | ・ふせんの録音機能を使用して、制限時間内にセクションごとのふせんに音声を吹き込む。 ・全体で模範解答の確認 | ・時間になったところで模範解答を流し、適切な答え方の解説を行う。 | 評価【主体】自分の意見を英語でまとめ、工夫して表現しようとしているか。 評価【思・判・表】質問に対して、目的、場面、状況に応じた表現ができているか。 |
| まとめ (5分) | Closing greetings ・まとめ | 課題の内容を確認する。 【課題】 ・各問題の各ふせんに自分の音声を吹き込み、提出箱に提出する。 ・教師のフィードバックを参考にし、次回さらにブラッシュアップした内容を吹き込む。 | ▶生徒の音声を聞き、教師はフィードバックを行う。(形成的評価) ▶再提出した課題を以下2点で評価。 【思考・判断・表現】質問に対して、目的、場面、状況に応じた表現ができているか。 【知識・技能】質問の内容を理解し、適切な語法を使用できているか。 ▶教師のアドバイスにより、自己調整を図ることができるよう配慮する。 |

(4) ICT活用計画

- ①1セクションごとに映像のふせんを配布
- ②出題形式を確認・説明
- ③生徒がふせんに音声を吹き込む
- ④その上で答え方の確認、模範解答を示す
- ⑤音声データの提出
- ⑥教師のフィードバック
- ⑦よりよい音声データを再提出



▶ClassPad.netを活用する効果について

これまでは、スピーキングテスト対策として、教室内で生徒同士や教師と生徒の対話形式での対策しかできなかったが、ClassPad.netを使用することで、制限時間を意識した本番に近い形式で、過去問を解くことが出来た。また、自宅でも自分のペースで自分の音声データを聞き直すことができ、個別最適化された学習の流れが可能になった。さらに、提出した音声データに対する教師からのフィードバックにより、よりよい解答へと工夫する表現力と自己調整力を養うことができた。